

## \* 日山(天王山)の動物 \*

日山(天王山)は安達、田村、双葉三郡の境にあり、標高は1,058mを数える。

春の新緑、秋の紅葉、山頂からの景観も美しく、訪れる人の多い所である。また山頂には三郡それぞれの方向に三つのお社が祭ってあって、信仰の山としても知られている。

日山への道はいくつかある。まず浪江町南津島前沢から岩下に出てゆるやかな斜面を登る道、双葉郡葛尾村風越から登る道、岩代町百目木から田沢、川口を経て山頂に至る道。

さらには百目木から茂原を経る道などがある。いずれのコースも一日でゆっくり往復できる距離で、日帰りで楽しむには格好の山である。

### 日山の動物

阿武隈山地のほぼ中央に位置する日山は開拓や伐採などかなり人手が加わっているが生息動物は多い地域である。

我々は百目木から萩平、川口を経て山頂を



杉 林

めぐした。10月中旬のことである。10月に入れば昆虫の季節には若干遅いが、路傍にはまだ沢山の昆虫類が見られる。

舗装の切れるあたりは人手の特に加わった地域で低木やススキが多く、路傍にはナギナタコウジやキク科のシオンの仲間が目につくところである。

日山スカイファームあたりからは羽山の眺望が美しい。麓山は日山と並ぶ山であるが、近年は採石が盛んに行われ、その半面はえぐられ岩石の露頭となり、美しい緑はかなり失われている。かつてはアツモリソウやムラサ